

京都市動物園・金戒光明寺・真如堂施設見学

開催日時： 2022年7月8日(金) 10:00～14:40

集合場所： 京都市営地下鉄東西線 東山駅

天候： 晴一時小雨

参加者： 8名

スケジュール

10:20～11:15	京都市植物園 講義
11:15～13:00	見学・昼食
13:20～13:40	金戒光明寺 説明受講
13:40～14:00	境内見学
14:00～14:20	真如堂見学
14:40	バス停(錦林車庫前)で解散

目的：

1、京都市動物園

1903年(明治36年)に大正天皇のご成婚を記念して、全国で2番目に開園。市民の多額の寄付金を基に建設され、市民の手による日本で初めての動物園です。



「動物園で学ぶSDGs」の講義を聴き動物園を見学しました。

2、**金戒光明寺**は、比叡山を旅立った法然が承安5年(1175)に開いた草庵に始まる等、お寺の人に歴史等の説明をお願いしました。

3、**真如堂**は、正式には鈴聲山真正極楽寺(れいしょうざん しんしょうごくらくじ)と

いい、永観2年（984年）に戒算上人が開創した、比叡山延暦寺を本山とする天台宗のお寺です。

これらお寺の歴史、建設物について学びました。

行程・内容

徒歩で京都市動物園に行き、レクチャールームで、生き物・学び・研究センター 田和優子先生に「動物園で学ぶSDGs」講演を聞きました。

<SDGsとは？>

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。

2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。

2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成されています。

動物園での目標は15【陸上資源】で陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

動物園での4つの役割

- 1、種の保存
 - 2、教育・環境教育
 - 3、調査研究
 - 4、レクリエーション
- の説明が在りました。

京都市動物園ではゾウの繁殖プロジェクトとして



ラオスとの間で協定アジアゾウ4頭（オス1頭、メス3頭）の寄贈で始まりました。
地域とのつながりにより、餌の寄付・糞のたい肥化での循環などの活動がされています。
動物園（天王寺動物園、神戸市動物園、五月山動物園、どうぶつ王国等）にも企画され、
行きましたが、動物を見るのも楽しいですが、動物の裏側にも目を向けていきたいですね。



昼からは**浄土宗大本山 紫雲山・くろ谷 金戒光明寺**に行き、山門の偉大さに圧倒されました。御影堂でお寺の説明を受けました。くろ谷の地は、法然上人43歳の承安5（1175）年比叡山の修業を終えてこの地で念仏をされた時、紫雲全山にたなびき、光明があたりを照らしたことから、浄土宗最初の念仏道場を開かれた場所である。浄土宗7大本山の1つで、山越阿



弥陀図（重文）など数多くの文化財を所蔵する。



三重塔



山門（御影堂から）

幕末の京都は治安が悪くなり徳川幕府は新しい京都守護職を設け文久2年（1862）、会津藩に任命し、黒谷金戒光明寺が本陣として選ばれた。

三重塔に寄って、真如堂に向かう。

真如堂は比叡山円楽次を本山とする天台宗の寺です。

小雨が降り出したので雨宿りをさせてもらいバス停で解散しました。

金戒光明寺は秋の特別公開が行われ、ライトアップもおこなわれています。



この企画はコロナ感染が広がり過去2年間それぞれ企画しましたが、中止しました。

担当 小林 薫